

第二講座 資料の読み取り・文章表現

P 22 ① 27年度

〈解答〉

- 1 (熊本県は九州各県と比較して) 一日一人当たりのごみ排出量は最も少なく、ごみのリサイクル率は第四位だ(という事実がわかる。)
- 2 「I」引き取っていただきます 「II」謙譲語 「III」丁寧語
- 3 ア
- 4 イ

〈解説〉

- 1 資料1には「九州各県の(略)ごみ排出量」「ごみのリサイクル率」が表されているので、この2つの要素それぞれについて書く必要がある。また、表中の数値も着目し「ごみ排出量は最も少ない」「リサイクル率は4位」など、具体的に述べることが望ましい。
- 2 業者の方に対しては「引き取ってもらう」↓「引き取っていただく」という謙譲語をもちいる。また「引き取っていただく」という話を大勢の生徒に伝える場合、聞き手に対する敬意を示す「です」「ます」などの丁寧語を使う。
- 3 選択肢イ「専門的な意見」をもとに資料1が作られたとは言えない。
選択肢ウ「具体的な作業内容」は資料2から読み取ることができない。
選択肢エ「提案の根拠」は資料3から確認できない。
- 4 「提案の全体像」として、取り組み内容が簡潔にまとめられている内容Bを発表する。続けて内容について「提案理由」となるAを述べた上で具体的な作業内容にあたるCを続けたあとで、作業上の注意点となるDを続ける。学校でのプロジェクトなので「家庭」などについて述べているEを最後にする。

P 24 ② 28年度

〈解答〉

- 1 (一文目) 愚公は山の北側のとても険しい場所に住んでいました。
(二文目) (そのため) 愚公は家の出入りのたびに回り道をしなければならませんでした。
- 2 ウ
- 3 やまはかぞうせず
- 4 (どれほど困難なことでも) 努力を続ければ実現できる

〈解説〉

- 1 一文目は「険しい場所」という語句が重複するため、省略する。その際、「とても」を書き忘れないように注意する。二文目は主語「愚公は」を書きたすことが必要。また、文末は「でした」と敬体で書いているため、二文ともそろえる必要がある。
- 2 適当でないものを選ぶことに注意する。
- ア 二段落目に「故事の内容」、三段落目に「自分の体験」、四段落目に「故事成語と体験との関連」があるので正しい。
- イ 三段落目に事実をまじえて体験を話している。
- ウ 発表原稿の中に「反論」にあたる部分はないので適当でない。
- エ 五段落目に音読する部分、「どんな感じがしますか」と問いかける部分がある。
- オ 問題文冒頭に、「発表のとき黒板に掲示した【資料】と書いてある。
- 3 1 4 2 3
山 不_二加 増_一 上のように読む。
- 4 立山さんは、愚公と同じように努力を続け、目標のタイムを上回ることができた。
[B] の前に「どれほど困難なことでも」とあるので、「困難なこと」を「実現できる」や「成し遂げる」などを書く。

△解答▽

- 1 経験
- 2 (この条件に) 当てはまる(人)
- 3 私と違つて
- 4 広がる

△解説▽

- 1 中川さんのアドバイスに「中学校生活での」**A**をまじえて」とあるので、最初の段落の3行目「経験」が当てはまる。
- 2 岡本さんのアドバイスには「わかりやすい言葉に言い換えたほうがいい」とあるので、「該当する」を「当てはまる」と言い換える。
- 3 坂崎さんは「平井さんが指揮者をしたのか、しなかったのか、わからない」「指揮者をしたことがはっきりわかるように」と言っている。このことをふまえて平井さんが伝えたいのは、「私は指揮者をして、音楽の楽しさを味わえた。」「(みなさんは)私と違つて指揮者をしなくても、音楽の楽しさを味わえる。」「この2点である。つまり、立場が違つても楽しさは味わえること」をかけばよいので、「私と違つて」と書き換える。
- 4 二段落目からあとの段落に共通する動詞は「広がる」である。
終止形で書きなさいという指示に注意して書く。

△解答▽

- 1 イ
- 2 「A」百年後もきれいな肥後川 「B」軍手 「C」ごみ袋
- 3 肥後新橋周辺には自転車を置く場所がない
- 4 集合時間

△解説▽

- 1 自分の動作に対する敬語表現なので謙譲語である「おくる」を選ぶ。
- 2 「A」が合言葉の…とあるので、…部を目印にボランティア募集のお知らせから似た表現を探す。
B ↓募集のお知らせに、「参加の際は各自で軍手などの準備をお願いします。」とある。ただし、「など」は省いた形で答えること。
- 3 平田さんの会話の中に「肥後新橋のあたりゝ場所がないので…」とあるので、「ゴミ袋」が該当する。
- 4 イベント参加の連絡プリントになるので、最低限集合場所と集合時間を明記する。その観点で考えると集合時間が示されていないことがわかる。

△解答▽

- 1 (一目見ただけで) よくわかります
- 2 嫌いなものが入っている
- 3 苦手なものを残さなくなつた。
- 4 私たちができることを考えてみませんか

△解説▽

1 「瞭然」…はつきりしていて疑いような様子。この意味がわかれば解答は導ける。

2 A の直前の「一年生と三年生で差が大きな項目がありますね。」を参考にあてはまる項目を考える。

3 高田さんの会話の中の「苦手なものも残さず食べるようになりました。」の部分から字数制限を満たす解答を作る。

4 【資料】に使われている表現を活用していくという視点で考える。最後から2行目に「私たちにできることは何?」という表現があるので、この部分を利用して、字数制限を満たす解答を作る。

5 【採点の観点】

○ 内容
問題意識をもつことで行動が変わった自らの体験について、どんな問題意識をもったのか、また、問題意識をもつ前と後でどのように行動が変わったのかにふれながら明確に書いている。

○ 表現
文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。

○ 表記
漢字や仮名づかいが正しく、句読点が適切に使われている。

○ 解答例
私は新聞の記事で海洋プラスチックごみが海岸の景観を損ねるだけでなく、

生態系や船の航行にも影響を及ぼすことを知り、そのことに問題意識を持つようになった。そして、それまではコンビニで買い物をするときはレジ袋をもらっていたが、自分でもプラスチックごみを減らす工夫をしようと思い、今ではマイバッグを持参して買い物をするようにしている。

1 あさ	2 あず	3 あつ	4 あば	5 いさ	6 いそ
7 いの	8 い	9 うつ	10 うやま	11 うら	12 う
13 お	14 おぎな	15 おさな	16 おさ	17 おとず	18 お
19 およ	20 かき	21 か	22 か	23 きぎ	24 きび
25 こず	26 く	27 こ	28 こ	29 こ	30 こなゆき
31 こま	32 ころ	33 さいわ	34 さか	35 さ	36 す
37 そな	38 そ	39 そ	40 た		

△解答▽

- 1 私は高校生の姉に誘われて
- 2 「A」我を忘れる
- 3 「B」試合観戦に熱中している(様子)
- 3 (段落)
- 4 エ
- 5 ウ

△解説▽

1 〈春田さんへの助言の一部〉の「アドバイス」にある通り、主語を「姉」から春田さん、つまり「私」に変える。その後にくく「誘って」も「誘われて」のように受け身の形に変えることに注意する。

2 2 段落にある「我を忘れる」とは「自分の存在を忘れるくらい何かに夢中になるさま」を表す慣用句である。ここでは、代表校同士のハンドボールの試合を観戦していることから、「試合観戦に熱中している」のようにまとめる」とよい。

3 挿入文の内容より、「試合の迫力を感じる」と「以外の競技場の魅力について書かれてある段落の冒頭に入ることがわかる。」3段落の1行目に「競技場には、自分で見どころを決める自由もあります。」とあるので、ここに入るわかる。

4 「テレビ観戦はよい」という主張に関して「天候」「交通手段」など具体的に根拠を挙げている。文末が「くからです。」とあるのも解答を導くヒントとなる。

5 「意見」が述べられている段落は2段落（競技場観戦よりもテレビ観戦に魅力を感じる）と4段落（テレビ中継でいろいろな競技を見よう）である。これが最初と最後に並んでいるものを選ぶ。

P 37	1 たず	2 たね	3 たば	4 た	5 ちぢ	6 つい	7 づな
	8 つと	9 つと	10 つね	11 て	12 と	13 とど	14 とな
	15 と	16 なご	17 な	18 に	19 ね	20 のぞ	21 の
	22 はい	23 はぐく	24 はじ	25 はな	26 ひき	27 ひたい	28 ひろ
	29 ふる	30 へ	31 まく	32 まった	33 まど	34 みちび	35 みき
	36 むぎ	37 む	38 む	39 めば	40 も		

P 38 7 R 3 年度

＜解答＞

1 エ

2 筆箱の中身の整理

3 ア

4 (また) 持ち物に書いた名前が薄くなったときは書き直してください。()

＜解説＞

1 直前に「タオル類の合計は」とあるので、「集計結果」をみると、タオル類の落し物は全体の一割に満たないことが分かる。よって、答えはエかオにしばらく。また、高本さんはその後で「広く落とし物の削減を呼びかけたほうがいい」と述べていることから、タオル類に限らず落し物が多いことに注目していることが分かる。このことからオの「迫る勢いです」は適当ではないことが分かる。

2 提案を受けて【放送原稿】には「皆さんの筆箱は：整理してみませんか」という呼びかけがある。この部分をまとめるとよい。

3 上川さんの発言は「くするのはどうでしょうか」「くどうですか」という形なので、ア「提案をしている」が適当である。なお、イは林田さん、ウは高本さん、エは田中さんの様子を説明したものである。

4 【話し合いの様子】には「薄くなった名前の書き直しについてもふれますが」とあるのにも関わらず、【放送原稿】にはこの部分がなくなっていることが分かる。このことから上川さんの「持ち物に書いた名前が薄くなったときには書き直そう」という発言を空所の前後の表現にあうように書き換えるとい

△解答▽

- 1 [A] 4 (番の棚) [B] 0 (番の棚)
2 イ

3 (資料)にある(参考文献を読んでみてください。)

4 (1) 苦しみを伴わない楽しみはない (2) 細部を詳しく(捉えること)

△解説▽

1 永田さんの「確かに肥後六花は六種類の花の総称ですが、熊本独特の花なので」という発言に注目する。植物に関する事なので、肥後六花に関する本は「4 自然科学(植物学・動物学)」に分類されそうではある。しかし、肥後六花が「熊本独特の花」であることから、「O 総記(全集・郷土資料)」に分類されているのである。

2 吉村さんの「私が調べたいのは：『昔の人たちの思い』についてなんです」という発言を受けて、永田さんはその理由をたずねている。この会話の流れにあった説明をしている選択肢はイである。

3 ②の直前の内容から、【資料】中にある何かを使って調べ永田さんは吉村さんに提案したのではないかと推測できる。さらに、「はい。参考文献をたどることで、『昔の人たちの思い』がわかるかもしれませんよ」とも永田さんは発言している。

4 (1) I 直前の「どんなことでも」ということばに注目する。【本の一部】には「どんなことでも苦しみなしで楽しみだけのものがあるでしょうか」とある。「苦しみを伴わない楽しみななどない」といつているのである。

4 (2) 問題にもあるように「全体像を大まかに」の対になる表現を答える。【会話の一部】中には、「全体像」と対になる「細部」、「大まかに」と対になる「詳しく」という言葉がある。

△解答▽

- 1 [I] 環境問題 [II] ごみの削減 [III] 循環型社会
(2) [A] イ [B] ウ

2 行動を変えていく 3 イ

△解説▽

1 (1) それぞれ空所の前後にある表現に注目して、【見学前の話し合い】の中から答えを探すようにする。田中さんの「：環境問題について調べているから：」という発言から、I には「環境問題」が入ることがわかる。また、II の直前にある「食品ロスやプラスチックごみを減らす」は、吉永さんの発言中にある「ごみの削減」を指した取り組みの例である。そして、III の直後に「の実現」とあることから、III は、吉永さんの発言中にある「循環型社会の実現に向けた：」を受けた内容だとわかる。

(2) 「教えていただきたい」の「いただく」は、ここでは「もらう」の謙譲語である。また、「思います」の「ます」は丁寧語である。

2 ②の直後にある後藤さんの「だから私は、今までは捨てていた紙を捨てずに再利用するようにしたよ」という発言に注目する。後藤さんがこのようにしたのは、村上さんの言う「これからの②」という意識を持つたからである。また、後藤さんや松本さんの発言を受けて、「一人ひとりの行動の変化につながるような取り組みを提案しようよ」と村上さんは発言している。このようなやり取りから、後藤さんの「今までは捨てていた紙を、捨てずに再利用するようにしたよ」という発言は、村上さんの言う「行動の変化」の具体例だととらえることができる。

3 田中さんの「五割に満たない項目」という発言、吉永さんの「以前に比べて意識して取り組んでいる人の割合が増えた項目」という発言に注目する。【資料】の中で、二人の発言が当てはまる項目は「マイボトル・マイカップの利用」しかない。この項目に適する取り組みは、イの「水筒の持参を促す取り組み」である。

△解答▽

1 誤った情報

2 6

3 インターネット上でもやってはいけない

4 「A」他者とコミュニケーションを図る

「B」さまざまなことについての情報を得る

△解説▽

1 ① 直後の「拡散する」に注目して、答えを【発表原稿】から探すようにする。「拡散する」は「(あるものが) ひろがる、ちらばる」という意味で、また【発表原稿】の「導入」の部分に「誤った情報の氾濫」とある。「氾濫」には、「(よくないものが) 世間にでまわっている」という意味があるので、このようなことから、①には「誤った情報」が入ることがわかる。

2 池田さんはリスクに対応するための情報モラルを理解するヒントを探すきっかけとなった発言を探す。【話し合いの様子】中、松永さんが「インターネットを安心して使うには、どんなことを注意して利用すればいいのか知りたいな」と発言している。この発言を受けて池田さんはヒントを探そうと思ったのだと推測できる。

3 導入が「インターネットを使う時に気をつけていることは何ですか」という問いかけで始まっていること、③の直前にある「言い換えると」に注目して、前後の内容に当てはまるように解答を作成する。直前の「対面のコミュニケーションでやってはいけないこと」とは「日常モラルを忘れて相手と接すること」であり、それは、インターネットを使う時にも気を付けるべきことだと述べようとしていることをつかむ。

4 A に入るのは、他国の人が思うソーシャルネットを利用するメリットである。【グラフ】を見ると、「新しい友人ができた」「しばらく連絡を取っていなかった人と再び連絡を取ることができるようになった」という二つの項目で、日本と他国との差が大きいことがわかる。【発表原稿】では、この二つの項目内容を「他者とのコミュニケーションを図る」と表現している。

また、B に入るのは日本人が思うソーシャルネットを利用するメリッ

トである。【グラフ】を見ると、日本人は「趣味や身近な地域の話題など、自分が興味のある情報を得ることができた」という項目に最も多く回答していることがわかる。【発表原稿】ではこの項目内容を「さまざまなことについての情報を得る」と表現している。

△採点の観点▽

○内容

インターネットを使うことで、学びが広がったり、深まったりした自らの体験について、インターネットのどのような点が、学びを広げたり、深めたりすることにつながったのかにふれながら明確に書いている。

○表現

文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。

○表記

漢字や仮名づかいが正しく、句読点が適切に使われている。

△解答例▽

以前、歴史上の人物について調べたことをレポートにまとめる宿題が先生から出されました。その宿題をするためにインターネットを使ったところ、教科書や資料集には載っていないその人物の生い立ちやその人物に関する学説を知ることができました。もちろん情報の真偽を確かめる必要がありますが、インターネットを使って学習すると、より深い学びを得ることができると思います。